

**【特別公開】 IPO実務検定試験 こんな問題が出る！**

**問題1** 会社法に関して、適切でないものを1つ選びなさい。

- 1 利益相反取引に際しては、取締役会設置会社の場合、事前に取締役会の承認を得ること、及び、取引後には遅滞なく取締役会へ重要事実を報告することが必要である。
- 2 非公開会社において取締役の任期を10年まで伸長できる。
- 3 株主の責任はその有する株式の引受価額が限度であることから、出資後は何ら責任を負うことはない。
- 4 株主総会議事録には出席取締役が署名しなくてはならない。

**問題2** 下記の項目を一般的な上場準備のスケジュール順に並び替えた際に、3番目となる項目として適切なものを1つ選びなさい。

- 1 継続所有の確約を証券取引所に提出
- 2 機関投資家へのロードショー
- 3 内部監査の本格開始
- 4 公募価格確定による訂正目論見書作成・提出

**問題3** 継続所有の確約を差し入れる必要がある株主として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大株主
- 2 直前期に株主割当により割当を受けた株式をそのまま保有している株主
- 3 直前期に付与を受けたストック・オプションを直前期に行使した者
- 4 直前々期に第三者割当により発行された株式を直前期に株式移動により取得した者

(注) 上記の問題は、日本IPO実務検定協会のご協力により作成したIPO実務検定試験の類題です。そのままの形で本試験に出題されるものではありません。